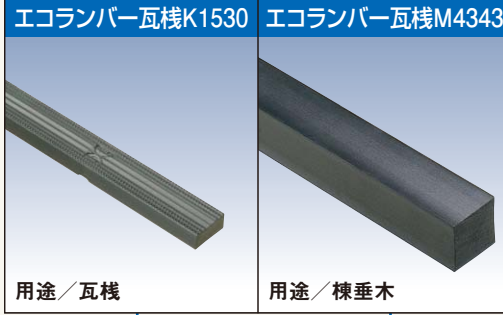


「粘土瓦屋根」に適した形状の腐朽しない樹脂製下地材。

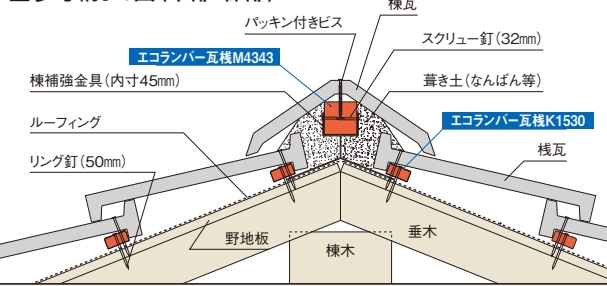
商品詳細

エコランバー瓦棧 K1530・H4035・HT4090・M4343

■粘土瓦屋根用

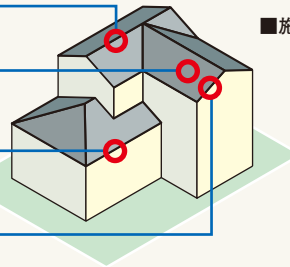


■参考納まり図(平部・棟部)

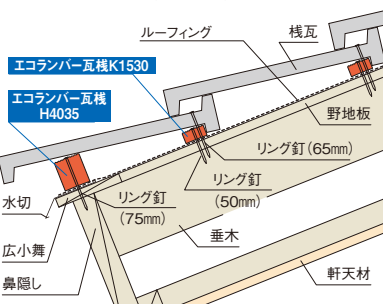


■施工部位

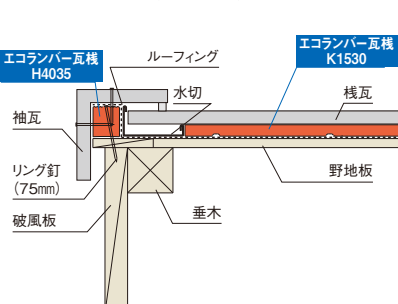
鼻棧【軒先部】
エコランバー瓦棧H4035
エコランバー瓦棧HT4090



■参考納まり図(軒先部)



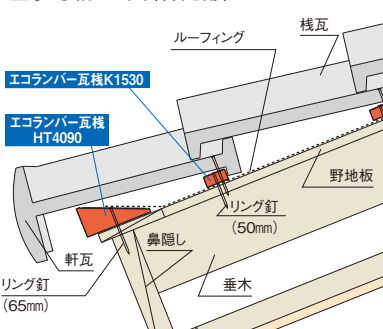
■参考納まり図(けらば部)



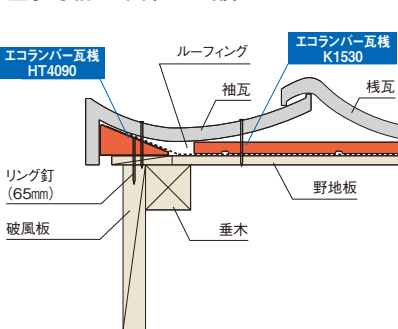
広小舞や水切などの納め方は、地域によって異なることがありますので、現地にて考慮ください。



■参考納まり図(軒先部)



■参考納まり図(けらば部)



広小舞や水切などの納め方は、地域によって異なることがありますので、現地にて考慮ください。

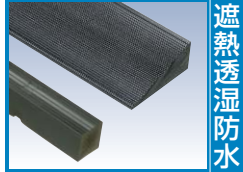
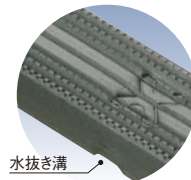
⚠️ 注意 保管時のご注意

- 保管の際は、エコランバー自体の反り曲がりを防止するため、日陰などの直射日光が当たらない場所に平置きしてください。

⚠️ 注意 施工時のご注意

- 瓦棧M4343は、910mmピッチ以下で躯体に固定された棟金具に取り付け、金具側面からスクリュー釘(32mm以上)で固定してください。
- 瓦棧M4343の端部は、必ず棟金具に取り付けてください。
- 棟芯には、なんばん・しっくい等の葺き土を入れてください。
- 棟瓦を施工する際は、バックン付きビスを使用し、ビスの先端が瓦棧M4343の深さ20mm以上に達するように、ビス打ちしてください。
- 瓦棧H4035は、リング釘(75mm以上)で@455mmピッチ以下となるように破風板(鼻隠し)に固定してください。
- 瓦棧HT4090はリング釘(65mm以上)で@455mmピッチ以下となるように破風板(鼻隠し)に固定してください。
- 瓦棧K1530は、垂木のピッチ(455mm以下)に合わせて、リング釘(50mm以上)で固定してください。
- 端部より10mmの位置に必ず釘を打ってください。10mm以内に打った場合、部材本体が破損することがあります。
- 瓦棧K1530・瓦棧H4035は、雨水が通る水抜き溝下部の防水シートに穴をあけないようにするため、水抜き溝上部の釘打ちNGマーク(×印)に釘を打たないでください。(右瓦棧K1530部分アップ写真参照)
- 瓦を施工する際は、瓦1枚に対し1本以上の釘を打ってください。
- 袖瓦を瓦棧H4035に施工する際は、釘の先端が瓦棧H4035の深さ30mm以上に達するように、袖瓦の側面から2箇所、上面から1箇所釘打ちしてください。
- 直射日光が当たるような用途(ガラス瓦の下地など)には使用しないでください。

● NGマーク(×印)



遮熱透湿防水

屋根下地材

エコランバー瓦棧

HK1530・H4035・HT4090・M4343

樹脂製屋根下地材

耐震制震 床基礎の気密断熱 遮熱透湿防水 開口住設備 換気システム 換気器材 スパンドレル 浴室水廻り 点検口枠 湯下下地 内装建材 養生保安 外装建材 左官資材 乾式・重床 引手等身 床仕上げ材 その他

粘土瓦
屋根用

材質
REPS



施工説明書